

## 野菜を作るには・・・

普段から私の家の食卓には新鮮で瑞々しい野菜が並びます。少しのスペースですが、祖父が野菜を育ててくれていたので。私はいつもその野菜を美味しくいただきます。

野菜を育てていく過程で必要なことは何か祖父に尋ねてみました。すると祖父は、

「肥料、太陽、水、愛情。」と教えてくれました。

肥料は育てる野菜によって必要なものが違うので、野菜に合わせて準備することが大事なようです。よく祖父は近くで馬糞をもらってきては干して使ったり、前の肥料と新しい肥料をブレンドしてみたりと様々な工夫をしています。

太陽は自然に出てくるものですが、野菜や植物を育てる上で欠かせないということ、理科の授業でも聞きました。でもそれも一筋縄

五條市立五條東中学校 二年

朝田 杏

ではないらしく、光が好きで野菜もあれば、少しの光の方が良い野菜もあります。それぞれの野菜に合わせて日光の量も調整しなければいけません。

そして、何より大事なのが水です。どれだけ太陽が出ていても光合成をするためには水が必要です。そして祖父が土に混ぜた肥料を野菜が栄養分として吸収するのにも水がいります。他にも野菜の温度を調整したり、もちろん瑞々しさも水が含まれているからです。つまり水は野菜を育てるために必要なピースを繋ぐ役割をしているのです。

そこに祖父の愛情が加わって、我が家の自慢の野菜ができています。野菜一つを作るのにも大変な準備が必要であり、何より水の大切さが分かりました。

しかし、近年水不足という危機に地球は陥

つています。干ばつはこの二十年で三割も増え、世界の国の中には水が枯れてしまい、農作物が作れないところもあります。日本は蛇口をひねれば止めどなく水が出てきますが、全く無関係の話ではありません。例えば我が家でも祖父の野菜ばかりが食卓に並ぶわけではありません。日本は輸出に頼っている部分も大きく、食料自給率はそんなに高くありません。世界で水不足が起こり、様々な農作物に影響が出てくると輸出を停止する国が増えるかもしれません。すると日本の食卓にも影響が出てきます。

では、私たちは何ができるのでしようか。まずは日本に水不足は関係ないと思うのではなく、「節水」を意識することが大切なのだと思います。私も歯磨きをしているときや洗い物をしているときに水を出しっぱなしにしていることがあります。水不足で困っている人たちのことを考えると反省しなければいけません。

蛇口はこまめにしめる。米のとき汁を植物にあげる、お風呂の残り湯で洗濯をする・・・など少しの工夫でたくさん節約ができて、

意識が高まります。祖父は野菜作りの水を蛇口から取るだけではなく、ポリバケツに雨水を溜めておいて撒いていきました。他にも山から湧き出る天然水を汲みに行き、自然の恵みを有効に活用していきました。節水を率先して行っている祖父はやはり水のありがたみを感じているのだなと思います。祖父の野菜作りについて関心をもつことで今回私は水の大切さを学ぶことができました。私も祖父に教えてもらいながら野菜を作り、チャレンジして水のこともっと知りたいです。